

17年度漁期ののり特定養殖共済の概況について

～ のり養殖業の近年の動向 ～

平成17年度(17年度漁期)ののり特定養殖共済の支払共済金は、全国合計で約24億円となる見込みです(18年6月26日現在)。これは前年度の支払実績に対し、約8億円の増加(対比約1.5倍)となり純共済掛金28億円に対して86%と比較的大きな支払いとなっています。

主な支払い要因は、瀬戸内海域の漁場において珪藻類の発生などによる栄養塩の低下に伴って生じた品質低下の結果、生産が減少したことによるもので、有明海域が好調で支払いが少なかったことと対象的な結果となりました。

最近10年間(平成8～17年度)ののり特定養殖共済の実績(下表)をみると、加入は比較的順調に推移しており、地域格差はあるものの全国計の通算収支は均衡が保たれていることが分ります。これは、流通が漁協共販によりカバーされているのり養殖業において、「ぎよさい」が広域かつ高い加入を確保していることによるものと言えるでしょう。

のり養殖業をとりまく環境として、韓国・中国などからの輸入量増大、消費動向、漁海況の動向など不安要因をかかえるのり養殖業のさらなる加入拡大は、「ぎよさい」にとって重要な課題の一つと言えます。

最後に、平成18年度漁期について良好な生産であることをご祈願申し上げます。

平成8～17年度 のり特定養殖共済実績

(金額単位:百万円)

契約年度	契約員数	共済限度額	共済金額	純共済掛金	支払員数	支払共済金	損害率
8年度	6,126	75,482	47,969	1,951	1,536	1,027	53%
9年度	5,529	75,163	46,369	1,837	869	506	28%
10年度	5,406	79,548	50,289	1,933	2,517	2,374	123%
11年度	4,849	71,985	45,223	1,698	1,601	1,459	86%
12年度	4,148	66,016	41,335	1,561	1,791	1,948	125%
13年度	4,759	77,441	62,167	3,354	982	868	26%
14年度	4,664	80,599	57,073	2,615	2,597	4,080	156%
15年度	4,475	77,199	54,471	2,670	2,034	2,287	86%
16年度	4,417	79,219	55,580	2,802	1,362	1,630	58%
17年度	4,268	80,264	56,366	2,802	1,225	2,414	86%
合計	48,641	762,916	516,842	23,223	16,514	18,592	80%

もずく養殖の実績は含まない